

## 祝15周年 新冠のシンボル レ・コード館誕生祭開催

平成9年6月8日、この日は新冠町のシンボルであるレ・コード館が誕生した日です。

この日を記念して、6月9日、レ・コード館誕生記念日イベントがレ・コード館と道の駅の各店舗、農協ストアーで開催されました。

レ・コード館では、有料コースの無料開放や町民ホール裏側ツアー、スタンプラリーやロビーコンサートが実施され、道の駅や農協ストアーでは商品の割引が行われるなど、来場者を喜ばせていました。また夜には、レ・コード館自主企画委員会主催「五十嵐浩晃コンサート」が行われました。五十嵐さんは、静内高校出身の歌手で、昭和55年に発売した「ペガサスの朝」がヒットしたことで知られています。



## 水産業振興功労

### 田さんに旭日双光章

このたび、田貢さんが旭日双光章を受賞されました。

田さんは、昭和33年に31歳の若さで新冠漁協の監事に就任。以降昭和39年には新冠漁協理事。昭和59年から平成17年までは新冠漁協組合長。漁協が合併した平成17年から現在まで、ひだか漁協副組合長を歴任。



この間、組合経営安定の基礎をつくるなど、新冠町の水産振興に多大な貢献をされました。今回これらの功績が認められ、叙勲が贈られました。

## 地域の消防団活動に協力 町内3事業所が認定される

6月4日、役場会議室で、日高中部消防組合による、消防団協力事業所表示証の交付式が行われ、(株)橋本商店、栗山建設(株)、(有)新冠塗工舎の3事業所に認定証と表示証が交付されました。

消防団協力事業所表示制度は、今年度より始まった制度で、消防団と事業所の協力体制を促進し、地域の消防・防災力の充実強化などを図ることを目的としています。

具体的には、従業員が消防団に、複数(2名以上)入団していることや、災害時に事業所の資機材を消防団に提供しているなど、消防活動に理解と協力があり、地域社会への貢献が認められた事業所が、認定される制度となっています。

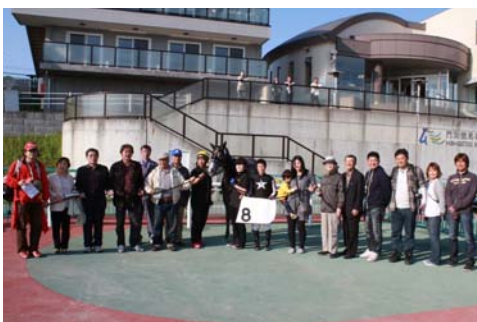


## 選果場オープン 売上目標3億8000万円



6月8日、昨年より12日早く、新冠町農業協同組合ピーマン選果場が稼働し、本格的にピーマンのシーズンがスタートしました。今年のピーマン栽培農家は41戸で、作付面積は15・2畝。出荷目標数量1300トン、販売目標額は3億8000万円と、7年連続で販売額3億円突破を目標としています。

## ニイカップクイーン号 新馬戦圧勝



5月31日、ホッカイドウ競馬で、新冠町議会議員で構成されている、新冠軽種馬議連組合所有の「ニイカップクイーン号」が、門別競馬場で行われたJRA認定レースに初出走し、見事優勝を飾りました。レースは、スタート直後から先頭にたった同馬が、2着に9馬身半差をつける圧勝でした。

# ま ち の 話 題

あれこれ

## 国保診療所 松平さんに

### 厚生労働大臣表彰

このたび、新冠町国民健康保険診療所に勤務する松平峰雄さんに、厚生労働大臣表彰が贈られました。松平さんは、昭和44年に同診療所の診療放射線技師として勤務して以来、40年以上の永きにわたり在職し、地域医療の推進に多大な貢献をされました。

これらの功績が認められ、同表彰の受賞となりました。



今回は、全国で57人の診療放射線技師が同表彰を受賞されており、北海道では唯一の受賞となりました。

## 比宇川・芽呂川流域 2万匹のヤマメを放流

6月23日、厚別川支流の比宇川と芽呂川で、ヤマメの稚魚の放流が行われ、地域の住民など約60名の参加者が集まりました。

このヤマメの放流は、比宇川流域環境保全会(鎌田一博代表)が行っているもので、平成15年の台風10号により激減したヤマメを復活させる目的で今年で5年目となります。

この日は、少し肌寒い気温でしたが、子ども達は元気よく約2万匹のヤマメの稚魚の放流を楽しんでいました。

稚魚を放流した後は、比宇川のごみ拾いや水遊びをしたほか、参加者全員で、焼き肉をし交流を深めました。

